

# こんにちは ブラインテックです

## 第66回 日本橋女学館中学校・高等学校 ライブラリ 2012年4月

今回は、東京都中央区の神田川沿いに建つ日本橋女学館中学校・高等学校 ライブラリを訪ねました。浅草橋駅から徒歩3分、また都内各ターミナル駅からもほぼ30分以内でアクセス可能な場所に、平成21年に完成した地上8階地下1階の新校舎がそびえたっています。今日は教頭である藤井先生と職員鈴木様にお話をお伺いしました。

### —はじめに、組織の概要をお伺いできますか。

本校は平成16年に創立100周年を迎えた、伝統のある女子校です。

明治38年に地域有志によって設立された日本橋区教育会により日本橋女学校の名で本科（4年制）と技芸専修科（2年制）で開校し、翌年私立日本橋高等女学校となりました。明治40年には最初の卒業生を送り出し、その3年後には校舎を現在地へ移転するのに伴い、技芸専修科を廃止し本科のみとし定員400名（5年制）にしました。大正4年の創立10周年を機に日本橋区教育会から独立し、財団法人日本橋女学館となりました。昭和22年には現在の学校名となりました。平成21年に新校舎が建設され、現在に至っています。



### —大変歴史ある学校なのですね。では、中学校・高校の特色を教えてください。

難関大学進学クラス（高校は難関大学進学コース）、進学クラス（同 進学コース）、芸術進学コース（高校のみ）の各クラス（コース）に分かれていて、それぞれ授業の体系なども異なっています。例えば、難関大学進学クラスは先取り学習のカリキュラムとなっていて、中高共に7時間授業の日もあります。また、高校の進学コースには普通クラスの外、スポーツクラスもあり、バドミントンやスケートなどの強豪校としても知られています。校内屋上のテニスコートや8階の体育館だけでなく、千葉県市川市にあるグラウンドへ移動して行う授業もあります。芸術進学コースは、以前は演劇だけだったのですが、新校舎になってからは美術と音楽のコースもできました。

生徒総数は400人程度の少人数体制なので、1人1人に目が届く環境であるのも特色です。毎朝小テストや放課後の講習・ナイトスタディなども実施し、教員も生徒を全力でサポートしています。さまざまなクラスやコースがあり、通っている生徒たちも個性豊かな子が多いようです。

中央区の私立学校は本校だけであること、またこの土地に長い歴史を持つ学校であることもあって、地域に密着しているのも大きな特徴ですね。地域の企業にご協力いただき調べ学習や中央区長への提言などをするキャリア教育「にほんばし学」を行っている他、地元の幼稚園・小学校にボランティア活動に行ったり、日本橋まつりのパレードへの参加やホテルでのクリスマスコンサートなどを実施したりしています。

### —熱心に勉強をする生徒さんが多い貴校では、ライブラリの果たす役割も大きいと思います。本日も授業で使われているようですが、ライブラリについて教えてください。

以前の校舎では図書館は3階でしたが、新校舎ではライブラリと改称して地下1階に移転しました。地下ではありますが、神田川側の天井が吹き抜けになっているので川面からの光が入り、室内は明るいですね。床暖房とエアコンを併用しているので、館内はそれほど冷え込みません。

このフロアには、コンピュータ教室や情報センター、進路指導室もあり、ライブラリと合わせて「メディアセンター」と呼ばれています。今日のように、調べ学習の授業で使用される頻度が高いので、ライブラリを授業で使用する場合は学内 LAN のシステムで予約することになっています。

情報館は平成9年に総合1台を導入してから、これまでずっと使用しています。平成22年にサーバ機を導入し、検索端末である情報館 OPAC II を1台追加しました。毎日の図書館業務は職員一人で行っています。



——新校舎になり、ライブラリのスペースは以前の校舎よりも狭くなってしまったそうですが、大きなテーブルと個人机、適度に余裕を持たせた配架など、あまり狭さを感じられません。工夫されていることはありますか？

授業で使用することを念頭に、館内には大型ディスプレイやプロジェクター、ホワイトボード、1学年全員が着席できる座席などを用意する必要があったため、書棚数に制限が出てしまいました。閲覧室には、現在約2万冊程度の本と25タイトル程の継続雑誌を並べています。閉架書庫が事務室の中にあるのですが、こちらには図書類の他に学園史やアルバム、記念品なども保管しているため、資料類を保存する場所は悩みの種です。

工夫している点としては、薄型の書棚を柱などに沿わせて設置し文庫本やビデオなどの配架に使用している点や、ブックトラックを活用している点が挙げられます。特に、ブックトラックに参考図書類を配架し用途に応じて動かせるようにしたことは、ライブラリ・情報センターを使用した調べ学習のような授業に対応しやすくなったというメリットがありましたね。



——利用者のための具体的なサービスを教えてください。

旧校舎の頃は生徒の生活の動線上に図書館があったのですが、新校舎になってからは動線からやや外れているため、以前よりも静かになった気がします。ただ授業などで使われることも多いので、授業の前後にはよく貸出がありますね。館内を見渡すと、待ち合わせ場所に利用されたり、受験勉強をしている姿がよく見受けられます。また、保護者もよく利用しています。

入学時には生徒に「読書ノート」を配布しています。これは自身の読書記録を書き込めるノートですが、その前半部分には各学年別の推薦図書、各教科の先生方からの推薦図書、「多読者」と認められた生徒からの推薦図書など合わせて150冊程の書誌情報と紹介文が掲載されています。

また、購入のリクエストも受け付けています。「学校図書館にそぐわないと判断されたもの以外はできるだけ応じる」という方針の下、図書委員会の顧問（司書教諭2人）などで検討して購入しています。年に2回程、図書委員の生徒と希望者が書店に向いて直接選書をする機会も設けています。

本校にはいろいろな専門コースがあるので、それに関連した資料を集める必要があります。また、高校は地歴分野で文部科学省の研究開発学校に指定されているため、その研究に関連した資料も収集しています。



——情報館についてコメントをお聞かせください。

OPAC II 導入当時は使用方法を掲示していたのですが、使用方法を見なくても使っている生徒が多いですね。生徒たちはパソコン操作にも慣れているので、キーボードを使ってスムーズに検索しています。

新機能の中では、これから配架図を使ってみたいと思っています。蔵書点検のタイミングで配架場所データを整えたいと思っていますが、夏休みのような長期休暇の時も講習や補習・部活などで開館しなければならない日がほとんどで、まとめて閉館することが難しく、作業が進まないのが残念です。



——ありがとうございます。お困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

文武両道の生徒育成を目指す、伝統ある貴学の今後のさらなるご発展・ご繁栄を心よりお祈り申し上げます。本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました

\*\*\*\*\*

## 日本橋女学館中学校・高等学校 ライブラリ

〒103-8384 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6

電話：03-3662-2507

http://www.njk.ed.jp/